

第17回 地域実践のための「精神保健福祉」講座

「やってみませんか？」

「オープンダイアログ」

～地域生活における対話の可能性～

話題提供者

水谷 緑 さん

「やってみたくなるオープンダイアログ」著者（漫画家）

竹内冬彦 さん 竹内桂子 さん

（精神保健福祉士 相談支援事業所 me）

（ODNJP オープンダイアログトレーニング 基礎コース2期生）

参加費 会員：1,000 円

一般：1,500 円

当事者・家族・学生：500 円

申込 Peatix による（締切：10月21日（金））

※会員とは、広島県精神保健福祉士協会会員及び、広島県精神障害者支援事業所連絡会会員事業所職員をいいます。

日時 2022 年 10 月 29 日（土）

13：30～15：30（受付13：00～）

方法 オンライン（Zoom）による

定員 90 名（*定員になり次第締め切ります）

*研修のお申し込みについて

Peatix（ピーティックス）の下記のアドレスにアクセスして、手順に従いお申し込みください

<https://peatix.com/event/3368971>

主催： 広島県精神保健福祉士協会

広島県精神障害者支援事業所連絡会

<お問い合わせ先>

- ・研修内容に関するお問合せ：082-493-8750 ワークセンターなかよし（担当：垣尾）
（〒739-2105 東広島市高屋町松山 267-1 ワークセンターなかよし）
- ・研修申込に関するお問合せ：0120-777-581 Peatix（10：00～18：00 但し土日祝を除く）

ご 案 内

これまで2年にわたってコロナ禍により休止してきましたが、このたび「第17回 地域実践のための『精神保健福祉』講座」をオンラインにて開催いたします。

今回は、近年精神科医療・福祉の分野で注目を集めている「オープンダイアログ」について取りあげます。「オープンダイアログ」とは、フィンランドの西ラップランド地方（ケロプダス病院）で開発された集団的対話にもとづく精神療法の考え方・思想であり、最近では、精神療法の領域を超えて、様々な領域に通用する考え方を秘めていると言われていています。

今回の講座では、「やってみませんか？オープンダイアログ ～地域生活における対話の可能性～」をテーマに、相談支援の場で実際にオープンダイアログを活用しながら実践してこられた竹内冬彦さん・桂子さんご夫妻と、「やってみたくなるオープンダイアログ」の著者のお一人で、月刊スピリッツに「こころのナース 夜野さん」を連載され、精神分野に造詣の深い漫画家の水谷緑さんの3名を話題提供者にお迎えします。実際のフィンランドでの様子や、竹内ご夫妻の現場でのお話を通して、日常生活におけるオープンダイアログの可能性について、参加者の皆さんとともに考えてみたいと思います。

ぜひともに学び合いましょう。皆様のご参加をお待ちしています。

プログラム

流 れ	時間	内 容 等
13:00～	30分	受付 開始
13:30 ～ 15:30	120分	開会 ごあいさつ テーマ： 「やってみませんか？オープンダイアログ」 ～ 地域生活における対話の可能性 ～ *竹内冬彦さん、桂子さん、水谷緑さんの3名による トークショー (※途中で、休憩や質問タイムがあります)
15:30	—	閉会

話題提供者のご紹介

竹内 冬彦 氏

2006年より精神保健福祉士。医療系の法人にて長期入院患者が退院できる地域づくりとケースマネジメントに従事。ほか、ひきこもり家族会専属相談員等。2020年8月相談支援事業所 me を開設。

ODNJP オープンダイアログトレーニング2期生、DPI 未来語りダイアログ ファシリテーター養成研修修了。好きな言葉は「home and dry」。

竹内 桂子 氏

2006年より精神保健福祉士。医療法人にて精神疾患のある方の居場所づくりに従事。名古屋市子ども・若者総合相談センターなどを経て、2015年、緑区地域活動支援センターしかやまの開設に参画。2020年8月相談支援事業所 me を開設。

飲食店で働くのも好き。ODNJP オープンダイアログトレーニング2期生。好きな言葉は「ホッとする」。

水谷 緑 氏

月刊！スピリッツ（小学館）で、精神科が舞台の漫画『こころのナース夜野さん』を連載中。（第5巻6月発売）神奈川県生まれ。

2014年、『あたふた研修医やってます。』（KADOKAWA）でデビュー。著書に、『精神科ナースになったわけ』（イースト・プレス）、斎藤環氏との共著で『まんが やってみたいくなるオープンダイアログ』（医学書院）がある。

好きなものはモチモチした食べ物。

